

審 議（会 議）結 果

次の審議会等を下記のとおり開催した。

審 議 会 等 名 称	令和 6 年度神奈川県肝炎対策協議会		
開 催 日 時	令和 7 年 1 月 29 日（水曜日）18 時 00 分～19 時 30 分		
開 催 方 法	Web 開催		
（ 役 職 名 ） 出 席 者	（会長）加川建弘 磯崎夫美子（以下、50 音順） 小田真智子 岸本洋子 小菅俊彦 笹生正人 日高央 前田直樹 守村妙子 森本学 幸田吉史 湯山薫 吉田綾 渡邊綱正		
次回開催予定日	未定		
問 い 合 わ せ 先	がん・疾病対策課疾病対策グループ 肝疾患担当 電話番号 045-210-4795 ファクシミリ番号 045-210-8860		
下 欄 に 掲 載 す る も の	・ 議事録 ・ 議事概要	議事概要とした 理由	不確定な情報であって、公開すると混乱を生じさせるおそれがある情報（神奈川県情報公開条例第 5 条（3）の内容）のため
審 議（会 議）経 過	1 報告 肝疾患対策事業の実施状況について ＜資料 1～4 について事務局から説明＞ （会長） ただいまの事務局の説明について、質問・意見はありますか。		

	(前田委員) 資料２の１頁、「特定感染症検査等事業による肝炎ウイルス検査件数」の令和３年度及び令和４年度の陽性率の小計について、どちらも「0.0%」と記載がありますが、令和３年度が「1.4%」、令和４年度が「0.6%」ではないでしょうか。 (会長) ありがとうございます。事務局、こちらのご指摘に対していかがでしょうか。 (事務局) ご指摘ありがとうございます。委員のご指摘のとおり、令和３年度が「1.4%」、令和４年度が「0.6%」です。申し訳ございません。後日、修正版をお送りいたします。 (会長) その他、質問・意見はありますか。 (湯山委員) 資料４の「肝疾患コーディネーター養成事業」について、令和５年度時点の累計の認定者数は何名でしょうか。 (会長) ありがとうございます。事務局いかがでしょうか。 (事務局) 令和５年度までの新規の認定証交付者数の累計は「973 名」となっています。 (会長) 令和５年度までの新規の認定証交付者数の累計は「973 名」ということですが、湯山委員、よろしいでしょうか。 (湯山委員) はい。 (会長) 他にご質問・ご意見はありますか。 無いようなので、続いて議題に入ります。「神奈川県肝炎対策推進計画の進行管理について」事務局から説明をお願いします。
--	--

2 議題

神奈川県肝炎対策推進計画の進行管理について

<資料5について事務局から説明>

(会長)

ありがとうございました。委員の皆様から、質問・意見はございますか。

確かに前計画の判定方法ですと、資料5の2頁で進捗率が「172%」となっていますが、実際の数値を見ると大幅に上昇しているわけではないので、新しい判定法の方が適しているのかなという気がいたします。

よろしいでしょうか。ご意見ないようですので、続きまして、「神奈川県肝炎対策推進計画の進捗状況及び取り組み状況について」、事務局から説明をお願いします。

<資料6及び資料7について事務局から説明>

(会長)

説明ありがとうございました。計画の進捗状況について、今どのような取り組みを実施しているかも含めて、詳しく説明していただきましたけれども、只今の説明に対して質問・意見はございますか。
挙手ボタン又はチャットをお願いします。

(湯山委員)

データがございましたら、肝疾患拠点病院における肝疾患コーディネーターの配置人数について、教えてください。

(会長)

事務局、いかがですか。

(事務局)

肝疾患拠点病院における肝疾患コーディネーターの配置人数についての資料が手元にございませんで、後日お調べし回答いたします。

(湯山委員)

わかりました。よろしくお願いいたします。

(会長)

他にいかがでしょうか。

(前田委員)

説明ありがとうございました。柱の3「肝炎医療を提供する体制の確保」の陽性者フォローアップに関する質問です。陽性者フォローアップを最終的に全33市町村で実施したいということですが、計画当初「28自治体」から令和5年度「27自治体」と「1自治体」が減っている状況となっています。陽性者フォローアップの体制を維持することは、大変な事柄や困難を伴うようなことや、減少した要因はあるのでしょうか。

(事務局)

昨年の2月に各市町村に対して陽性者フォローアップの実施状況をお聞きしました。その結果、これまで実施していただいていた1自治体ですが、「令和5年度の職員の入れ替わりが激しかったため、対応できない状況にあった」ということでした。

その自治体では今年度、肝疾患コーディネーターのセミナーも受講していただき、陽性者フォローアップの体制も敷いていくと伺っています。

(会長)

前田委員、よろしいでしょうか。

(前田委員)

はい。

(会長)

他にいかがでしょうか。

(湯山委員)

資料7の2頁の施策(1)肝炎を予防するための普及啓発の「イ 若年層を対象とした普及啓発」についての意見です。私ども薬害肝炎原告団では、学校を訪問し、実際に肝炎になった方による講演を実施しています。非常に参加された皆さん良い感想文を書いていただいています。なので、もしそのようなニーズがありましたら、お手伝いができるかなと思い意見を述べさせていただきます。よろしくお願いいたします。

(会長)

貴重なご意見ありがとうございます。事務局からいかがですか。このような試みはできそうでしょうか。

(事務局)

恐れ入りますが、学校訪問の対象は、中学校、高等学校、大学のどのあたりで実施されておりますでしょうか。

(湯山委員)

中学校も高等学校も大学にも参ります。訪問先に応じ、講演内容を工夫しており、中学校であれば内容を少し優しくしています。大学にも訪問しますが、看護学科等の医療関係の大学が多く、そのような場では専門的なお話もさせていただいております。

(事務局)

昨年、県の教育庁からカリキュラムが固まっているといった話も聞いております。次は私学の状況をお聞きしてみるのかなとも考えておりました。ご意見は参考にさせていただきます。ありがとうございます。

(湯山委員)

よろしくお願いいたします。ありがとうございます。

(事務局)

事務局から追加の発言よろしいでしょうか。

(会長)

はい。

(事務局)

湯山委員、大変貴重なご意見をありがとうございます。神奈川県では、こうした肝疾患、肝炎、肝がんを含むがん教育に大変力を入れております。教育委員会に申出のあった学校に、元患者の方や医療従事者の方が訪問してこのような検診の受診促進から、がんにかかった方の状況について、教育という観点でお話をするといったことは大変積極的に進めております。

そのがん教育の中で、ご意見いただいた肝炎ウイルスの内容も含まれるかどうか、教育委員会とも相談していきたいと思います。よろしくお願いいたします。

(会長)

県の方で今後検討していただくということで、お願いしたいと思います。

他にいかがでしょうか。

(前田委員)

先ほどの湯山委員のお話に関連する内容ですが、我々のB型肝炎の原告団でも患者講義を行っており、私が東京全体の取りまとめをしております。医療系の大学や専門学校、その他の大学などを含め、年間およそ20校で実施しています。また、中学校でも文部科学省や厚生労働省のホームページから申込みができる体制になっています。2022年度から3年間で東京原告団が10校ほどの中学校で実施しています。

しかし、少し残念なことに、神奈川県内では1校の大学のみ実施の実績のため、お声掛けいただいた際には出向いていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

(会長)

はい。貴重なご意見ありがとうございました。

それでは他にいかがでしょうか。

用意されている議題は以上となりますが、各委員からご意見を少しずつ頂戴できればと思います。

磯崎委員いかがでしょうか。

(磯崎委員)

ありがとうございます。私ども保健所の現場の立場ということでは、検査や医療費に対してはホームページ等で普及をしており、各種申込みがあった際には実施しているという状況です。

そして、只今ご報告ありましたように、普及啓発についてですが、前田委員や湯山委員のように、直接患者様からの講義やがん対策としての講義というのは、肝疾患をメインには実施があまりされていませんが、他の事業の中で、学生向けに性感染症予防講演会などを保健所では実施しています。その中では、若い方に多い梅毒、或いはHIVのことがメインになっていますので、肝炎ウイルスについては情報量が少なくなっているのが現状です。本日、このような状況も伺いましたので、ウイルス性肝炎についても、少し重視するよう意識して普及することも可能かなと感じました。

それから、若い方にはピアスやタトゥーのリスクなども、普及の機会ととらえ、普及できたらよいと感じました。

(会長)

はい。HIVと一緒に肝炎についても、普及啓発が重要だということで、貴重なご意見ありがとうございました。

それでは、小田委員いかがでしょうか。

(小田委員)

自治体として広く普及啓発するという手段について課題を感じまし

た。現在、いろいろな普及啓発の方法がありますが、対象者がどなたか、どこに重点を置くのか、どの手段を使うのか等、選択肢が広がった反面、どうしても不得意な部分もあるので、対象者や方法も考えながら進めていけたらと思いました。

公募委員の方を中心とした質問・意見の中でいろいろヒントがありましたので、今後生かしていきたいと思います。ありがとうございます。

(会長)

はい。ありがとうございます。川崎市は非常に進んだ取組みをされていますので、こちらもいろいろ教えていただければと思います。

それでは、岸本委員いかがでしょうか。

(岸本委員)

はい。ありがとうございます。横浜市の取組みの中で、肝炎の検査のご案内をがん検診と一緒にご案内しているということで、注目を高めたりしております。肝炎検査で陽性になった方のフォローアップの自治体数を増やすという県の計画の柱は、非常に大事だと思いますが、本当にフォローアップをどのように取りこぼしなくしていくかというところも、結構大事なところなのかなと感じております。

当市は年に3回、4か月ごとに陽性者の方に書面によるフォローアップを実施していますが、フォローアップの回数が大体1回となっています。当市としてはそれで問題ないかなと考えているところですが、他の自治体の事例で、例えば複数回されている、リアクションがない方に対してどのくらい追っている等の先行事例がありましたらご共有いただければと思います。

(会長)

他の自治体の委員の皆様いかがですか。

横浜市及び川崎市は全国的にも進んでいると思いますので、また我々も情報があったらご連絡させていただければと思います。ありがとうございました。

それでは、小菅委員いかがでしょうか。

(小菅委員)

ありがとうございます。横須賀市の保健所でも、肝炎検査について積極的に進めているところで、令和4年までの数字は、資料にもありますが、令和5年はさらに100件ほど増えて338件と、やっとコロナ前の数値に戻ってきたと感じているところです。

さらに、広報等を進めてより多くの方に検査を受けていただこうと思っているところです。

また、肝炎の受給者証についてですが、申請の手続きもこちらで受け付けをしているところですが、令和6年12月2日から保険証がマイナンバーカードに変わって、申請の手続きが高齢者の方にとっては少しわかりにくく、手続きしにくくなってしまったところが、少し残念だなと思っています。高齢者の方にも配慮していただくような申請方法になればありがたいと思っていますところ。以上です。

(会長)

ありがとうございます。事務局いかがでしょうか。

(事務局)

12月2日から、新しい保険証が発行されなくなり、マイナンバーの保険証に一本化されたというところですが、現在有効な保険証をお持ちであれば、そのコピーをご提出いただければご申請いただけます。

他に代わりになるもの、例えば資格情報のお知らせをお持ちであれば、そちらのコピーでもご申請いただけます。またその旨を、皆様にお知らせしているところでございます。

(会長)

小菅委員よろしいでしょうか。

(小菅委員)

はい。

(会長)

それでは続いて笹生委員お願いいたします。

(笹生委員)

先ほど磯崎委員が発言されたような取組みといたしまして、神奈川県医師会でも感染症に関わるがん対策として、肝炎、HPV、ヘリコバクター・ピロリの講演会を、郡市医師会にお願いして開催しております。同じように、性感染症に関しても、昨年、郡市医師会におきまして開催しております。

感染症に関するがんには意識高くを進めたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

(会長)

はい。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、日高委員いかがですか。

(日高委員)

私は本協議会に初めて参加しましたが、データを見させていただいて、神奈川県は非常に一生懸命に取り組んでいると感じました。また、核酸アナログ製剤について、神奈川県のB型肝炎患者に対して約5,000件認定されているという数字等を初めて確認し、勉強させてもらって、非常に有意義だったと思います。ありがとうございました。

(会長)

はい。ありがとうございます。

それでは、守村委員いかがですか。

(守村委員)

茅ヶ崎市保健所の令和6年度の実施といたしまして、肝臓週間に合わせてSNS、市役所の展示等を用いて普及啓発をしました。

令和6年度は、若い方などに検査を受けていただく方を増やすため、HIVや梅毒とあわせて匿名検査ということで、電子申請で受けていただくように新しい試みを始めたところ、かなり申込者数が増えたところです。さらに令和7年度については、その検査の機会についても少し増やす方向で検討しております。

あとは令和6年度に、肝疾患コーディネーターの認定を市の職員が取得したので、引き続き推進していきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

(会長)

はい。すばらしい試みですね。HIVや梅毒と一緒に肝炎ウイルス検査も実施するというのは、本当に参考にさせていただきたいと思います。ありがとうございます。

それでは、森本委員いかがでしょうか。

(森本委員)

はい。ありがとうございます。非常に今回も勉強になりました。また、いろいろな問題点に対する取り組みも参考になりました。

この1年間では特に肝がん・重度肝硬変に対する助成金の要件の変更を機会に、院内での助成金の周知がうまくできているかどうか見直しをして、病院としては受け身でなく積極的に取り組んでいけるよう、しくみを今作っているところであります。全体の取り組みにつきましては情報交換できていければなと思っています。ありがとうございます。

(会長)

はい。そうですね。肝がん・重度肝硬変の助成金は制度が変わって

どれぐらい増えたかっていうデータは、本日はありませんでしたが、今後も注目していく必要がありますね。ありがとうございました。
それでは、幸田委員お願いします。

(幸田委員)

資料２にある特定感染症検査等事業で、藤沢市も他の保健所設置市と同様にH I Vの無料匿名検査とあわせて、肝炎検査を行っています。令和４年度は、９件と伸び悩んでいましたが、令和５年度は「知って、肝炎」プロジェクトで周知・啓発に力を入れたこともあり、令和５年度は３３件、令和６年度は１２月までですが５２件と、検査実績が数年で何倍かに伸びたという状況です。

市内の図書館では、肝臓週間に合わせて、肝炎に関する書籍を集めたコーナーを設置して周知したり、市内のプラズマビジョンでP Rしたりするなど、地道な周知啓発もありましたが、何よりも受検しやすい環境を整えることが一番大事だと感じており、藤沢市で無料匿名検査のH I V検査と併せて肝炎検査を受ける場合には、藤沢市民であることが条件なことから従来は検査時に個人情報収集していましたが、令和５年度からは検査時に個人情報は収集せずに陽性となった方だけに後で個人情報を収集する方式とし、検査を受ける際のハードルを下げました。

これらの取組により、今回のように件数が伸びてきたことから、ちょっとした環境の改善でかなりの件数が伸びるのだなということがわかりました。引き続き、本市で取組を継続していくとともに、県内全体で受検しやすい環境整備が広がっていくといいなと思います。以上です。

(会長)

はい。非常にすばらしい試みだと思います。個人情報を最初は集めないということですね。このようなちょっとしたことで、受検者数が伸びるということも非常に重要なことですね。貴重なご意見ありがとうございました。

それでは、吉田委員お願いいたします。

(吉田委員)

はい。ありがとうございました。相模原市におきましては、通常検査、性感染症の検査を行っていますが、そちらの方で肝炎の検査のご案内をすることもございます。

また、年１回の世界エイズデーに伴うイベント検査におきましては、H I V、梅毒に加えて、B型肝炎の検査を行っている現状がございます。

そして、１つの課題と認識しておりますのが、肝炎ウイルス感染に

不安を持つ方に対しまして無料で簡易の検査を実施していますが、申込者数の方に対し、実際に検査を行っている方の割合が、令和4年で69%、令和5年で77%、今年度途中ですが現時点で44%となっており、検査に関心はお持ちいただけていても、実際に受検していただけていないという現状がございます。以上です。

(会長)

貴重なご報告をありがとうございました。

肝炎ウイルス検査についての認識はしているけれども、検査を受けてないということなのですね。

(吉田委員)

そうですね。受検されてない方の未受検の理由についてヒアリング等できない状況なので、今後検討していきたいなと思います。

(会長)

わかりました。また、教えてください。ありがとうございました。

それでは渡邊委員いかがですか。

(渡邊委員)

はい。ありがとうございます。我々も肝がん・重度肝硬変の治療の助成について、何とか件数を増やそうとしていますが、どうしても医事課とのコネクションが難しく、もう1か所窓口を作らないとなかなか拾い上げの直接目に見える効果が出てこないという状況です。

従って、その外枠、どういった流れを作るかっていうことを今年度も考えていたのですが、今後も引き続き、この肝がん・重度肝硬変の、助成金の制度の運用に注力していきたいと思っております。よろしくお願いします。

(会長)

はい。ありがとうございました。大きな組織を動かすのは難しいですよね。また皆さんで検討していければと思います。

以上、皆様から一言ずついただきましたが、追加のご意見ありますでしょうか。よろしいでしょうか。

用意されている議題は以上です。それでは以上をもちまして議事を終了させていただきます長時間にわたり、お疲れ様でした。

閉会

以上

	資料 1 令和 5 年度 肝炎治療医療費助成制度申請・認定・支払状況 資料 2 肝炎ウイルス検査（検診）実施状況（令和 2 年度～令和 4 年度） 資料 3 令和 5 年度 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業実施状況 資料 4 令和 5 年度 肝疾患医療センター事業実施状況 資料 5 神奈川県肝炎対策推進計画の進行管理について 資料 6 神奈川県肝炎対策推進計画の進捗状況 資料 7 神奈川県肝炎対策推進計画の取組状況（令和 5 年度～令和 9 年度）
--	--